

国土強靭化に向けた

防災・減災ワークショップ in 紀宝町

地域の力で乗りこえる

-離れていても、ともにつながる防災-



こんな方におすすめ

- ・他地域の災害支援の経験を、自分の地域の防災に活かしたい方
- ・自治体や支援団体、ボランティアとの協働に関心がある方
- ・「もしもの時」に備えて、地域でできることを考えたい方

参加
無料

離れていても、つながる力が防災を強くします。能登半島地震では「どんな支援が必要か」「どう受け取るか」といった半島での備えが課題となりました。

『もし今ここが被災したら?』を出発点に、地域でできる備えを見直します。支援を受ける力、共助の力を高めるために、話し合いながら具体的な行動を見つけていきましょう。

講 師

松本 健一氏

認定 NPO 法人セカンドハーベスト・ジャパン



建築・都市計画を学び、建設コンサルタントとして31年間、地域に寄り添いインフラのソフト分野に携わる。この間、釜石市でのまちづくりや震災復興を通じ、住民・行政・関係者が顔の見える関係を築く重要性を実感し、対話の場づくりを続けてきた。

現在は「災害時の食の支援」に取り組み、能登半島地震でも炊き出しなどを継続支援。平時のつながりが非常時の支えとなる仕組みを探求している。

日 時

2026年2月11日(水・祝日)

14:30～17:00 (開場 14:00)



会場参加

紀宝町生涯学習センター『まなびの郷』

(〒519-5701 三重県南牟婁郡紀宝町鵜殿 1147 番地 2)

▼お申込は
こちら



オンライン 参加

第1部のみオンライン (Zoom) での配信あり

国土強靭化に向けた防災・減災ワークショップ in 紀宝町 地域の力で乗りこえる - 離れていても、ともにつながる防災 -

当日の内容

第1部 話題提供「支援の現場から見えた課題と備え」

講師：松本 健一 氏（認定NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン）

※講義タイトルは変更となる場合があります

能登半島地震で実際に支援を行った団体より直接、「どこで、何を、どう支援したのか」「現場で困ったこと、備えておくべきだと感じたこと」そんなリアルな声を事例とともに紹介します。支援する側・受ける側、両方の視点から、地域の防災力をどう高めるかを一緒に考えるヒントをお届けします。

第2部 ワークショップ

テーマは『もし今、ここが被災したら？』。災害時に必要な支援や、地域で備えるべきことを話し合います。話題提供者（講師）や有識者からのアドバイスもあります。

【テーマ例】

- ・必要な支援は何か？どう受け取る？どう伝える？
- ・支援が届かないとき、自分たちで守るにはどうする？
- ・地域に必要な「受援力」や「共助の力」をどう高める？



当日の有識者



池上 三喜子 氏

公益財団法人市民防災研究所 理事
NPO法人東京YWCA 福祉会 理事

申込方法

WEBでお申し込み

https://questant.jp/q/kiho_bosai260211

応募締切

2026年2月9日（月）まで

